

鹿大「進取の精神」支援基金 平成 30 年度留学生受入推進事業  
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト 参加者報告書

2019 年 5 月 17 日

学生 情報	氏名 name	Yuliana Ayu Cahyani ユリアナ アユ チャヒヤニ
	出身国 country	Indonesia インドネシア
	出身大学 university	Diponegoro University ディポネゴロ大学

かごしまたいがく かつどう こんご てんぼう  
鹿児島大学での活動と今後の展望

鹿児島大学に留学して、私が、一番上達したと思うことは、日本語を話すスピードです。今振り返ると、話すスピードが上がったことで、授業などでも、日本人の学生にも、積極的に話しかけることが出来て、知り合いもたくさん増えたのだと思います。そして、日常会話で日本語をたくさん使ったせいか、母国語のインドネシア語の方が、単語を思い出せないこともありました。しかしそれは、日本語で物事を考えているという証拠なので、嬉しいことでもありました。その他にも、鹿児島大学では、韓国語の授業や英語を使って活動する授業があったので、様々な考え方をを持った人達と交流できたことも、とても良い経験になりました。また、この交換留学で日本語を勉強したお陰で、今自分が参加している山梨でのインターンシップにも、合格することが出来ました。今は旅館で働いていて、お客様やスタッフとコミュニケーションを取る機会が多いので、大学で得た経験が日々の仕事にとっても生きています。そしてもう一つ、私が参加した、法文学部のゼミの授業で、日本の子どもや学生たちにインドネシアのことを紹介する活動がありました。紹介する過程で、自分でも母国への理解を更に深められたのは、とても良い機会でした。また、出水市での活動に取り組む中で、出水の民泊などの地域おこしと、インドネシアのボランティアサービスを繋げられるのではと考えることができました。その意味でも、私はこの留学で、将来の仕事にも繋がる大切なことを学ばせてもらえたと思っています。

私は現在では、留学で学んだことを踏まえ、地域おこしや観光の分野で、鹿児島に関わる仕事に就きたいと考えています。自分の日本語や英語、そしてインドネシア語の能力を使って、他の人には出来ない、インドネシアと鹿児島を繋ぐための役割を担えたらと思います。

